

赤ちゃんや幼児も活動に参加している

ケースはありますか？

その場合どんなふうに参加しているのでしょうか？



ピアザは多様な人たちの集まりであればあるほど、多様性やコミュニケーション力を育てることにもつながっていきます。

特に赤ちゃんは私たちの多言語習得の原点、いわばお手本のような存在ですので、ことばを獲得していく様子を間近で見られるのは本当にうれしく、楽しいものです。

親御さんにとってはメンバーの気づきが、自分の子育ての楽しさにつながることも多いようです。

小さなお子さんをお持ちの親御さんたちは、自分ができる範囲で活動を行いながら、ことばと向き合ったり、ピアザの仲間に気づいたことを話したり、時には子どもがふと発した多言語を動画で録ってシェアしたり、と楽しまれています。

会場ピアザの場合は、まわりの人たち、特にお姉さんお兄さんが喜んで面倒をみてくれます。

小さいお子さんの存在は、メンバー全員のコミュニケーション力を育んでいくことにもつながりますので、

『**迷惑をかけるのでは？**』という遠慮は必要ありません。

思い切って色々な人にお子さんを任せて、ご自分が楽しめることが大切かと思えます。